

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における
木材利用等に関するワーキングチーム（第6回）

議事概要

1. 日時：令和2年2月5日（水）10：15～11：10
2. 場所：合同庁舎8号館5階 共用会議室A
3. 出席者：

諸戸 修二	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官 <座長>
齋藤 福栄	スポーツ庁総括官
鈴木 良典	農林水産省大臣官房生産振興審議官（兼生産局）
前島 明成	林野庁林政部長
吉野 裕宏	国土交通省大臣官房審議官（官庁営繕）
淡野 博久	国土交通省大臣官房審議官（住宅）
草野 智文	東京都オリンピック・パラリンピック準備局施設整備担当部長
齊藤 有	東京都オリンピック・パラリンピック準備局選手村担当部長
龍野 功	東京都産業労働局安全安心・地産地消推進担当部長
小野寺 弘樹	東京都財務局オリンピック・パラリンピック施設整備担当部長
山田 雅史	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会場整備局技術管理部長
高橋 武男	独立行政法人日本スポーツ振興センター新国立競技場設置本部 総括役
隈 研吾	隈研吾建築都市設計事務所

<事務局>

早坂 直樹	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局参事官補佐
眞城 英一	林野庁木材産業課長
長野 麻子	林野庁木材利用課長

4. 議事要旨

【内閣官房オリパラ事務局諸戸統括官】

2月に入り東京大会まで半年を切った中、開催に向けた準備もいよいよ「待ったなし」の段階に入っている。各競技会場なども着々と竣工している中、今までに取り組んでいただいた木材の利用に関する情報共有のほか、木材利用についての効果的な情報発信についての議論を行っていきたい。

・内閣官房より資料1について説明した後、資料2～7に基づき各組織より説明。

【日本スポーツ振興センター（JSC）】

- 国立競技場に関し、47 都道府県の木材を活用した軒庇、屋根構造材としての集成材利用、内装の木質化、ベンチとしての木材利用について説明。

【隈研吾氏】

- 国立競技場の設計に際しての木材利用の考え方や、利用した際に配慮した点等について説明。

【東京都】

- 各競技会場（有明アリーナや有明テニスの森公園、武蔵野の森総合スポーツプラザ等）での木材利用及び多摩産材の活用事例等について説明。

【組織委員会】

- 有明体操競技場及び選手村ビレッジプラザにおける木材利用について説明。
選手村ビレッジプラザは1月末にメディアや木材提供自治体向けに内覧会を実施。大会時にはメディアセンターの機能も置かれることから、木造の建築の良さが世界中に伝わることを期待。また大会後は提供自治体に戻され、再利用が行われる予定。

【国土交通省】

- 木造建築の推進に係る予算について説明。

【林野庁】

- 木材利用推進に向けた動きや関連予算について説明。

【生産局】

- 畳等を中心にした和文化の発信について説明。

・意見交換

【林野庁】

選手村ビレッジプラザは素晴らしい出来栄への施設である。是非とも解体前に一般公開や、キャパシティ的に難しい場合は建築関係者などに対象を限定するなども含めて、少しでも多くの方が良さを体験する機会を設けることを検討いただけないか。

【組織委員会】

提案のあった件については、大会が終わって以降の対応として、公開も含めて検討してまいりたい。